

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則である。

2. 練習場について

- ① 練習は本競技場にて行う。26日は9:30、27日は9:00以降多目的グラウンド、公園内を使用のこと。(室内の練習場は雨天時のみ)
- ② 投てき練習は、競技前に競技場内で行うこと。(多目的グラウンドでの練習は禁止)

本競技場の使用について

○ジョギングはレーンの外側を使用すること。

○レーンの使用は下記に従うこと。

- ・1, 2レーン→ジョギングを除く長距離の周回練習
- ・1～3コーナーの3, 4, 5レーン→流し(4コーナーは使用禁止)
- ・2コーナーの6, 7, 8レーン→リレーのバトン練習(4コーナーは使用禁止)
- ・3コーナーの7, 8レーン→リレーのバトン練習(4コーナーは使用禁止)
- ・1, 3コーナーの5, 6レーン→スタート練習

(日)

- ・4コーナー3, 4, 5, 6レーン→スタートの練習
- ・4コーナー7, 8レーン→ハードルの練習

(日)

- ・4コーナー5, 6, 7, 8レーン→スタートの練習

3. 招集時間について

- ① トラック競技開始時間の30分前受付開始、20分前集合、15分前完了。
- ② フィールド競技開始時間の40分前受付開始、30分前集合、25分前完了。(ただし、棒高跳は50分前受付開始、40分前集合、35分前完了)
- ③ 棄権する選手は所定の用紙に記入のうえ、選手係にとどけること。

4. 招集方法について

- ① 招集所は第1ゲート内側(100mスタート後方)に設ける。
- ② 招集場所に設置された所定の用紙(1枚)の自分のビブスの数字を、○でかこむ。(第一コール)
第一コールを終り招集完了時間の5分前に招集所で待機する。(○印は、係で用意してある赤鉛筆使用)
但し、他種目と兼ねて出場するものは、競技者係及び審判員に申し出て、競技の進行に支障のないようにする。
- ③ 招集完了時間に、競技者係はナンバーカード及び結着状態を確認して最終コールを完了する。完了後競技者係の指示、誘導に従う。出場者以外の招集所への立入及び代理人による招集は認めない。
但し、事情があるときの届出のための代理人の立入は認める。
- ④ 招集におくれたものは棄権とみなして出場を認めない。
- ⑤ 携帯電話や通信機器(通信機能のあるスマートウォッチを含む)、および音楽再生機器等は、持ち込めない。(競技規則TR6.3.2)

5. リレー種目について

- ① 登録選手の変更は認めない。
- ② リレーのオーダー用紙は、予選・決勝とも、招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
怪我等による選手の交代は、招集完了時刻までに大会総務が任命した救護員の判断がない限り認められない。救護員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。また、招集完了時刻前であっても、一度提出した編成の変更(オーダー用紙の差し換え)は認められ

ない。用紙は監督会議で配布する（小学生と一般の部は受付で配布する）。

6. 競技について

- ① アスリートビブスは、主催者の用意したものを折り曲げずに胸背につける。小学生以外は、跳躍種目の場合は、胸または背だけでよい。3000m以上の距離に出場する中学生は、背にアスリートビブスを付け、胸には腰ナンバー標識と同じ番号を付ける。アスリートビブスのない競技者は出場を認めない。
- ② トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識をランニングパンツ右側の上部やや後方につけること。腰ナンバー標識は粘着性のものを競技者係が配付する。使用後は各自で廃棄すること。
- ③ 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
- ④ スタート時における不適切行為(TR16.1/TR16. 2/TR16. 3)発生時は、責任ある競技者に対し注意を与える。それでもなお、不適切行為に該当する行為により注意を受けた競技者については、当該種目において失格とすることがある。
- ⑤ トラック競技の100m、200、400、800m、100mH、110mH、4×100mRは、予選の記録上位8名が決勝に進出するものとする。フィールド競技は、決勝のみとする。
- ⑥ 短距離種目では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- ⑦ トラック競技における次ラウンドのレーン決定については、TR20.4(国内)を適用する。
- ⑧ 予選におけるトラック競技の走路順はプログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技とフィールド競技の決勝については主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- ⑩ レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンを空ける。
- ⑪ 計時は、原則として電気計時(写真判定による1/1000秒)とする。
- ⑫ タイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があり、レーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は、本人もしくは監督による抽選とする。(競技規則TR21.5)
- ⑬ 走幅跳と砲丸投においては、すべての競技者に3回の試技が与えられる。試技3回終了時の記録上位8名には、さらに3回の試技が与えられる。
- ⑭ 走高跳、棒高跳においては、連続する3回の無効試技で競技終了とする。
- ⑮ 競技用具棒高跳用ポール以外はすべて競技場備品を使用する。
 - ・ 棒高跳用ポールは跳躍審判員が検査する。
 - ・ 投てき競技者はサポーター使用許可希望者の検査は競技場で投擲審判員より行う。
- ⑯ 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- ⑰ リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は、リレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して2人以内に限り他の競技者と交代することができる。この規則に従わなければ、競技規則によりチームは失格となる。
- ⑱ リレー競技においては、その学校の同一色ユニフォームを着用すること。
- ⑲ リレー競技のマーカー使用については競技規則を適用し、大きさが50mm×400mm以内の粘着性のテープ1カ所の使用を認める。マーカーは各校で用意し、使用後はそのチームで処理すること。
- ⑳ 競技場およびピットでの競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行う。
- ㉑ 審判長がやむを得ないと判断した場合に限り、フィールド競技の試技順を変更することができる。
- ㉒ 競技者は、その競技をするとき以外はトラックおよびフィールドに立ち入ることができない。
- ㉓ 競技者に対する助力については、競技規則TR6.2を適用する。フィールド競技については、コーチングエリアを設ける。その利用は、監督及び指導者が競技者とのコミュニケーションをとる場合のみとするので、エリア内に常駐しないこと。また、メインスタンドから動画を撮影した端末の受渡はできない。
- ㉔ 抗議は、競技規則TR8.2によって定められた時間内に各チームの監督者が行うこと。なお抗議受付窓口は競技場大会本部に設けるので、係員に申し出ること。この裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて審判長に文書で申し出ること。なお、この場合、審判長の裁定が最終決定となる。

- ②⑤ 本部前の通行は禁止する。
- ②⑥ 競技用靴のスパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。
- ②⑦ 競技用靴については、WAシューズ規定を適用する。

6. 中学校走高跳、棒高跳のバーのあげ方 (中学校)

男 1 m 30 ～ (5cm) 1 m 60. 65. 68 以上3 cmずつあげる。

走高跳 女 1 m 15 ～ (5cm) 1 m 35. 40. 43 //

棒高跳 2 m 00 ～ (10cm) 2 m 40. 50. 60 以上10 cmずつあげる。

- ① 走高跳及び棒高跳で上記以後の高さは、最後の一人になり優勝が決まるまでは走高跳は3 cm、棒高跳は10 cmきざみとする。
- ② 第1位を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で2 cm、棒高跳で5 cmきざみとする。(TR26.9)
- ③ 棒高跳の支柱移動申請書は提出しない。競技開始前に跳躍場にて競技役員に直接申し出ること。

7. その他

- ① 横断幕・のぼりの設置場所は、メイン・サイド・バックスタンドとも、最上段の手すり、またはフェンスとする。設置の際は通行の妨げにならないよう十分配慮すること。
- ② 参加各校とも、選手の健康管理と事故防止には十分配慮すること。
- ③ 場内でのマナーに関して、各校で指導を徹底すること。
- ④ 本部前、メインスタンド下の通路は、関係者以外立ち入り禁止とする。
- ⑤ 選手の付き添いは、競技場内へは立ち入りを認めない。
- ⑥ トラック競技においては競技種目並びに出場選手紹介のアナウンスがあり次第、フィールド競技においては試技を開始しようとしている競技者がいる場合、応援を自粛する。
- ⑦ メインスタンド内において、出入り口付近、通路、最前列の手すり付近に立って応援することは禁止する。またサイド・バックスタンドから競技場内に降りての応援も厳に慎む。競技進行の妨げになるような応援は慎むこと。
- ⑧ 競技場内に降りての写真撮影(卒業アルバム用も含む)は、大会本部に申し出て許可を得た場合以外は禁止する。撮影者は、許可を得ていることが明確にわかるような証を身に付けること。
- ⑨ ゴミは各チーム持ち帰りを原則とするが、事情に応じて配慮する。なおゴミ袋は大会本部に準備する。各校の清掃割り当ては以下のように定める。各郡市で清掃箇所を分担し、全参加校とも協力すること。

8. 小学生の部について

- ① スタートについて
 - ・ 5年、6年100 mは、クラウチングスタートとする。(スターティングブロックは使用しなくてもよい。)
 - ・ 全種目、同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。
- ② 80m ハードルは下表の規格で行う。

高さ	台数	スタートから第1ハードル	インターバル	最終ハードルからゴール
70 cm	9台	13 m	7 m	11 m

- ③ 走幅跳は3回試技とする。
- ④ WAシューズ規定(上記5②⑦)は適用しない。

【砲丸投】			
男		女	
～ 50 未満	7.26Kg	～ 50 未満	4.00Kg
50 ～ 60 未満	6.00Kg	50 ～	2.72Kg
60 ～ 70 未満	5.00Kg		
70 ～	4.00Kg		